



こんなときにご利用下さい。
Word・Excelでの文書作成代行



オフィスでの文書作成に欠かせない Word・Excel。
誰でも使えて便利ですが、複雑な文書作成や、
紙しか残っていない文書を大量にデータ化する場合など、
社内作業では追いつかないこともあります。
そんな時ご利用いただけるのが弊社の入力サービスです。



- ページ数が多い
 - 罫線が多い（表作成が多い）
 - 図形、写真の挿入が多い
 - 数式が入っている
- など、お困りの際は声をかけてください。

<実績>

規程集（規定集）・報告書・手順書・仕様書・マニュアル
テキスト・台帳・社史

コウカノカ
4

Vol.31

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-4001 大阪府長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカノカ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.31

2018

4
April



先月、ひよんなご縁からの仕事で、岡山県の山間部の村役場へ行く機会がありました。高齢化で活気がないところだろうという先入観がありましたが、町村合併を拒否し、林業を中心に据えて長期ビジョンで村の将来を見据えた活動がされているユニークな村でした。ベンチャー企業を誘致し、若い移住者もおり、役所の若い職員の皆さんも一生懸命やっておられました。高齢化、過疎化は日本全体の問題ですが、チャレンジする力があれば様々な方向が見えてくるように思います。

代表取締役 日笠宏昭



株式会社 宏和

Kowa Corporation

大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

今こんなこと
なっています！



進化するシャープペンの世界

デジタル化の進行とともに、会社で「シャープペン」を使うことが少なくなりました。仕事ではまったく使わない、という人も多いのではないのでしょうか。昔は、シャープペンというと、1本100円で、壊れたら買い換える大量消費型商品だったように思います。ところが、今や状況は全く違います。1本500円は当たり前、3,000円以上の高額商品も売られています。限定版や企画物で販売数が少ないものは、通販サイトで定価の2倍、3倍の価格が付いています。メインユーザーは男子中高生、それにつられて大人ユーザーも増えているようです。シャープペンも各メーカーが特色のある製品を発売し百花繚乱です。今月はそんなシャープペンの世界を書いてみました。

話題の商品とメーカー（価格は税抜）



●クルトガ(三菱鉛筆) 定価450円 アドバンスは550円

文字を書いたときに芯が回転してとがり続けるという独創的な機構を採用したシャープペン。それまでは、芯が片減りしないように自分でシャープペンを回しながら使っていたという人も多かったのですが、そんなことをしなくても、画数の多い漢字でも鮮明に書けるようになりました。2017年には機能を強化したアドバンスを発売、回転機構が2倍速く回るエンジンとし、美文字を前面に打ち出し、きれいな文字が書けるシャープをアピールしています。筆者評：(アドバンス) この機構を考えた人はすごいです。確かに持ちかえる必要なしです。



●オレンズ(ぺんてる) 定価 500円

芯が回らなくても細書きができるように、0.2mm、0.3mmという極細芯を搭載しており、極細でも折れずに書ける「オレンズシステム」というパイプがスライドして芯を保護する機構になっています。従って、芯を出さずに書く、という不思議なシャープペンです。女子の方が細書きを好む傾向なので、丸みを帯びたデザインにピンクやイエローなどのカラーをラインアップしています。筆者評：ノックして芯を出さずに書くので何とも変な感じです。でも細かい字が書けます。



●デルガード(ゼブラ) 定価 450円 タイプERは700円

どんなに筆圧をかけても芯が折れない機構を採用した「折れない」シャープペンシル。メーカーが「もう、折れない。」と言い切っているぐらい本当に折れないので、使ってみて驚いた人も多く、発売(2014年11月)から2年間で1,000万本も売れました。3回ノックまでは芯が折れないと公表しています。2016年には進化したタイプLxとERを発売、ERは逆さにすると消しゴムが飛び出し、それが固定されるのでしっかり消せるという一見手品のような「デルイレーザー機構」を搭載しています。筆者評：(ER) グリップが太めで書きやすく、本当に折れません。消しゴムはビックリ。



●モノグラフ(トンボ) 定価 350円 モノグラフゼロは600円

「細書き」「折れない」とは違う独自路線のシャープペン。売りは「消しゴム」。トップブランド、MONO消しゴムを内蔵し、上部を回転させると消しゴムが繰り出します。他のシャープより低価格でも完成度が高いと評判になりました。その後、製図用シャープを意識して超極細消しゴムや金属ローレットグリップを採用した上位モデル「モノグラフゼロ」を発売しました。筆者評：(ゼロ)消しゴムは高品質で細かいところまで消せます。グリップが細かいギザギザで持ちやすい。



●オ・レーヌ(プラチナ) オ・レーヌシールド 定価 200円、オ・レーヌプラス 450円

「折れない」シャープの1種です。落下などの衝撃で芯の中折れを防ぐ機構を採用しているのがポイント。1mの高さから落下させる実験を繰り返しながら開発したそうです。残芯0.5mmまで書ける「ゼロシン機構」も採用しています。初期モデルの強化版のオ・レーヌシールド、耐芯強度を初代モデルの倍にしたオ・レーヌプラスも売られています。筆者評：(プラス)机から落としても芯が折れない安心感と、残芯0.5mmで芯を節約できそう。



●モーグルエアー(パイロット) 定価 500円

ペン先が「モグる」ことでシャープ芯が折れることを防ぎ、強い筆圧による衝撃を吸収する新開発の「アクティブサスペンション」機構を搭載。ペンを振るだけで芯が出る「フレフレ」機構も搭載しています。筆者評：筆圧によってペン先が引っ込むので確かに芯が折れません。振るだけで芯が出るのも便利。



●ノノック(オート) 定価 500円

ノックなしで書き続けられる「芯の自動送り出し機能」を搭載し、ガイドパイプが芯をガードする機構で折れにくくなっています。筆者評：芯が勝手に出てくるので便利です。ボディが他のシャープペンより少し重い感じです。

別格

シャープペンの超ロングセラー スマッシュ(ペンテル) 定価 1,000円

1986年発売、その当時から1本1,000円で男子の憧れでした。先端の口金とグリップ部を一体化させたロングパーツを採用したことで筆記の安定化が得られています。この加工は大変で、非常に難易度が高いそうです。グリップはボコボコして握りやすそうですが、マットな質感の金属グリップで、しかも塗装は3層塗りを施しているとのこと、そのこだわりには脱帽です。ノック部にはジャバラのパーツを使用し、芯硬度(HB、Bなど)を表示する窓まで付いています。10万回のノック試験にも耐える強度も備えています。様々な高機能シャープペンが登場する中、今なお「神シャープ」として崇められているようです。筆者評：まさに、「これぞシャープペン」です。